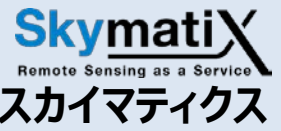


## 新潟市でドローンによる作付確認を実運用、作業労力・時間を大幅短縮



### 導入経緯

<目的> 多大な時間と労力を要している作付確認の省力化。  
 ※作付確認：国の経営所得安定対策等交付金の支払いのために行う現地確認作業。  
 水田の転作作物として、生産者が計画した作物が作付されているかを確認する。

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 実施時期 | 2019年6月                   |
| 対象作物 | 水稲（1200ha）                |
| 使用機体 | Wingtra（スイス製のVtol固定翼ドローン） |

### 取組概要

- 高度120mから空撮し、画像をSkymatiX社のサービス「いろはmapper」にアップ。本サービスによりクラウド上で画像と地図がリンク。オンラインマップ上に並んだ画像をクリックすると高解像度の圃場画像が表示される。市職員がパソコン上で画像を見て、作付確認を実施。自治体が管理する農地GISとの連携も可能。
- オペレーターを派遣し、ドローンを活用した効率的な撮影オペレーションを実施。また、人口集中地区や高速道路周辺は従来通り人が確認を実施し、安全性に考慮。

### 導入メリット

- 従来2週間で180人を動員していたが、ドローンの導入により9割の人員を削減できた。
- 「いろはmapper」の地図上に撮影画像が随時リンクされるため、進歩管理を明瞭に行うことができた。
- 画像が保存・管理されているため、認識相違による再調査が発生しなくなった。

